

塩江美術館コレクションより

日本の風景美展

2017

1/28
(土)

2/26
(日)

このたび当館コレクションの中から、水彩を用いて透明感のある表現で描いてきた、香川県出身の伊東義久による、水彩画作品三十点をご紹介します。

伊東は、文豪ヘルマン・ヘッセ^[注]が創作活動の傍ら自然と親しみ、自然を愛し、水彩画を描いていたことに共感していました。自身も幼いころから絵を描くことが好きで、仕事を退職後、絵を描くことと土と植物を相手に庭仕事をするを日課として、時には各地を旅行して、旅先で目に留まった風景をスケッチしてそれを水彩で表現していました。伊東が描く郷土や日本各地の風景からは自然の美しさ、そして描くことの楽しさが伝わってきます。

この機会に水彩画の魅力をお楽しみください。

[注]

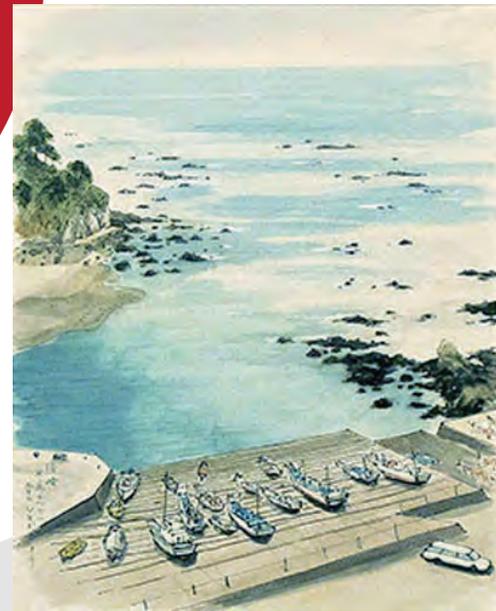
ヘルマン・ヘッセ (1877 - 1962)
ドイツの小説家。1946年ノーベル文学賞とゲーテ賞を受賞。
代表作は、『車輪の下』『デミアン』『荒野のオオカミ』など。
人間の生き方や精神世界を表現した作品を残している。



2



3



1

いとう よしひさ
伊東 義久
(1917 - 2003)

1917 (大正 6) 年
香川県 (現高松市) 香川町浅野に生まれる
1940 (昭和 15) 年
早稲田大学商学部 卒業

帝国銀行、第一銀行、第一勧業銀行などを
経て、東京ミサワホームに勤務。代表取締役
社長となり相談役などを経て退職。
退職後、幼い頃より好きだった絵画 (水彩
画) と庭仕事に情熱を傾ける。

1999 (平成 11) 年
「ヘッセのように描く水彩画」を出版
2003 (平成 15) 年
85 歳で逝去

- 1 《ホテル「いそかぜ」より》(静岡県下田市須崎) /1993
- 2 《近郊の民家》(福島県喜多方地区) /1996
- 3 《雨後竹林》(香川県高松市塩江町) /1992
- 4 《瘤櫓、走り根のある裏道》(埼玉県飯能市) /1995

表紙《木崎湖にて》(長野県大町市) /1987



4

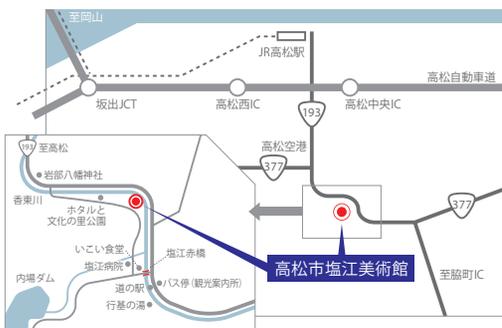
Hermann Hesse に憧れた男が描いた、素朴で清い、美しさ

同時開催 平成 28 年 第Ⅲ期 常設展 「光とその表現」
会期：2016/12/23(金) - 2017/4/16(日)
会場：高松市塩江美術館 常設展示室
時間：9:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)

高松市美術館・高松市塩江美術館
共通定期観覧券 (年間パスポート)
¥3000 (65 歳以上 ¥1500)

発効日より 1 年間、高松市美術館と高松市塩江美術館の
特別展及び常設展を何度でもご覧いただけます。

*高松市美術館又は高松市塩江美術館の受付窓口にてお申込みください。

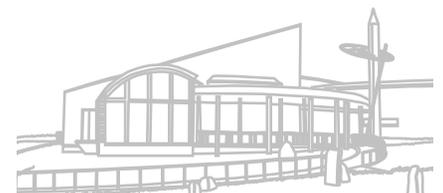


交通案内

バス：JR 高松駅から「ことでんバス塩江線」約 60 分、
塩江バスターミナル下車徒歩 10 分
自動車：高松中央 IC より約 40 分
飛行機：高松空港よりタクシーで約 20 分



美術館HP



高松市塩江美術館

Takamatsu Shionoe Museum of Art

〒761-1611 香川県高松市塩江町安原上 602

TEL087-893-1800 FAX087-893-1833